

Johnan Journal

仙台城南高等学校 大学と接続した新しい学びの創造

仙台城南いよいよ学校再開！

263名の入学生を迎えて

学校長 中川西 剛

ようやく6月1日から学校を再開することができ安心しているところです。一方で、やむを得ない事とは言え、入学式ができなかったことを大変残念に思っています。

さて、約2月間遅れで学校が始まったことから、今後の授業はどうなるのか、部活動などでの大会はどうなるのか、特に3年生においては大学入試や就職試験はどうなるのかなど、生徒の皆さんは大変不安に思っていることでしょう。授業については、夏休み期間を短くすることなどで対応することとしています。また、部活動によっては代替試合なども計画されているようで、今後の状況を見守りたいと思っています。また、進路関係で、就職試験は10月16日から開始されるなど、例年よりも1ヶ月遅れでスタートするようです。また、今年度から始まる大学入学共通テストは当初の計画通り来年の1月16日、17日に行われる情報も入っています。就職試験や大学入試については進路指導部で情報収集していますので、3年生においては進路指導室に足を運び、正確な情報を得るようにしてください。

困難な時ほど人は成長するとも言われています。時間を大切にしながら、でも焦らないで、目標に一步一步、前進して行きましょう。



1学年主任 鈴木 聡

令和2年度がスタートしました。しかし今年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、4月8日の入学式・始業式はやむを得ない状況で中止となり、大変心苦しい決断となりました。さらに、感染拡大防止のため、5月31日まで臨時休業期間とし、その間「学びを止めない」という観点から城南サテライト（オンライン授業）に加えて、分散登校を計画し、社会の情勢に合わせて柔軟な姿勢を維持しながら6月1日から学校再開をするために前進してきました。

異例づくめの数ヶ月間となりましたが、新入生・在校生共にこの経験から、これまで当たり前のことと考えていた日常の有り難さ、大きさを感じ取ってくれたことと思います。

私たち教職員も、この未曾有の体験をもとに、改めて教育、そして学校の存在意義を見つめなおし、どのような教育、そして安心安全をいかにして子供たちに提供すべきかを考えていきたいと思っています。

この一年、それぞれの生徒が将来の目標をしっかりと定め、歩んでいけるように、私たちも生徒と一緒に熱き思いを持って有意義な学校生活になるように支えていきます。



新入生のみなさんから ~高校生活での目標・希望~

特進科

スーパーコース 蛭名 一朗さん
(宮城教育大附属中学校出身)

私の高校生活で実現したい目標は志望する大学への合格です。その目標を実現するために頑張りたいことが二つあります。一つ目は学習についてです。高校で受ける授業は中学校のレベルよりもはるかに高いと思います。授業や自習の内容を反復して身にしみこむまで行いたいと思います。二つ目は友達との関わりです。同じ中学校だった人は数えるほどくらいしかいないので、ほとんどの人が初めて会う人達ですが、少しずつみんなと会話をして仲良くなりお互いに切磋琢磨しあえるような関係になりたいと思います。



この二つのことを頑張りがりながら高校生活で実現したい目標を目指して送っていききたいと思います。

特進科

アクティブコース 菊池 璃香さん
(名取市立第一中学校出身)

私の高校での目標は、「勉強と部活の両立」です。高校ではより専門的な内容を学ぶため、授業内容が難しくなります。また、特進科は平日の7時間授業に加え土曜日にも講習があるため、勉強と部活の両立が中学校の時よりさらに大変になると思います。そんな中でこの目標を達成させるには、担任の先生が話して下さったように、自立して自分自身をコントロール出来るようにならなければなりません。私が中学生の時は、家で学習や部活の練習をしようと思っても、気持ちだけで行動に移すことが出来ない時がありました。高校では、中学生の頃の私のように気持ちだけでなく、積極的に行動に移し、高校での目標を達成できるよう、充実した高校生活を送っていききたいと思います。そして、「城南高校に入って良かった」と思えるように頑張っていきたいです。



探究科

伊藤 快さん
(仙台市立八木山中学校出身)

私の高校生活で頑張りたい事は部活と勉強の両立です。部活では、小学校から続けていたバスケット部に入学しました。常に全力で一生懸命取り組み、チームに貢献出来るようになりたいと思います。また、私は体が小さいので人一倍の努力を惜しまず、先輩方を目標に精一杯頑張りたいと思います。勉強では、集中して授業に取り組み、良い成績を取って大学進学を目指し頑張ります。そして検定試験にもチャレンジして行きたいです。



私のクラスの目標である「何事にも全力で取り組む」を忘れず楽しく充実した高校生活を送っていききたいと思います。

科学技術科

野津 涉真さん
(富谷市立日吉台中学校出身)

私の高校生活での目標は文武両道です。中学生の頃、勉強が苦手ということもあり、部活ばかりに身が入ってしまい、勉強を疎かにしてしまうことがありました。

高校では中学生の時のような苦しい思いはしたくないので、計画的に行動し、勉強と部活の両立を図りたいと思っています。まずは、2学年から始まる科学技術科のコース選択に備えて、自分が就きたい職業を考えながら、全ての教科を積極的に学んでいくつもりです。毎日が楽しく、充実した学校生活を送りたいです。



新任の先生をお迎えしました

教頭 久保 義洋

赴任当初、コロナウイルス感染防止対応で慌ただしい日々が続きました。一方で、その対応を通して仙台南高校の強みを知ることもできました。生徒一人一人に電話をかけ、直接生徒たちの実情把握に努める先生方の姿に、胸が熱くなりました。また5月から始まったオンライン授業では、ICT教育先進校の技を、大いに発揮することができました。ヒト、モノともに充実しているこの学校に、どんな貢献ができるのか考えています。



主幹教諭 脇坂 晴久

4月から仙台南高校に着任しました、社会科の脇坂(わきさか)と申します。特進科2・3年の「地理B」の授業、探究科2・3年の探究学習、探究科1年3組の副担任を担当します。昨年、城南高校の野球部の試合を見る機会があり、「何て気持ちのいいチームなんだろう!」と感じたのが、城南高校に対する印象でした。実際、学校に来てみて、オンライン授業も登校後の授業も皆が真剣に受け、発問にも活発に答えてくれるので、授業やHRに行くのが毎回とても楽しみです。これから「よりよき未来をつくるために学ぼう」を合い言葉として、楽しく深く城南高校の生徒と学び合っていきたいと思っています。



特別顧問
校長補佐
教頭
主幹教諭
教諭
常勤講師
非常勤講師

宮城 光信
今野 基
久保 義洋
脇坂 晴久
鹿野 和広(国語科) 小竹 元樹(社会科) 大江 毅(理理科)
佐藤 悠(英語科) 熊谷 哲成(工業科)
照井 理広(工業科) 佐藤 諒(工業科)
菅原 佳奈(国語科) 大内 秀一(社会科) 笠原 清(数学科)
大崎 晃(数学科) 田幡 憲一(理理科) 吉岐 史章(理理科)
保科 信明(工業科) 佐藤 百合(学習センター)
李 史野(体育科) 佐藤 祐李愛(中国語) (昨年度後半から)

新任の先生方

月間予定

- 1日(日) 学校再開
- 2日(月) スタディーサポート
- 7日(日) S3 全統記述①
- 18日(木) S3 進学講演会
- 23日(月) 健康相談
- 26日(金) 生徒総会
- 27日(土) 進研模試 12年
- 28日(日) 色彩検定・デジタル技術検定

